

あさひ互近所ささえ～る隊 R5年度 活動報告



あさひ互近所ささえ～る隊隊長
都岐沙羅パートナーズセンター
斎藤 主税

社会福祉法人・住民有志による買物支援 「買い物に出かけよう」

～3カ年の実験を経てR5年度から事業化～

【概要】

朝日地区内で買物に困っている高齢者等を対象に、住民ボランティアが地区内高齢者福祉施設の送迎用車両を使用し、商業施設までの送迎・付き添いを行う共助の取り組み。

【ポイント】

- 過去3カ年の実験期間を経て、無理なく継続できる方法・仕組みを構築。（やる側ファースト）
- 公募はせず、民生委員・保健師等が直接声を掛けて参加者を募集。（本当に困っている高齢者を対象）
- 当面は年6回／春から秋にかけて開催。（ボランティアの負担を考慮）
- 参加費として300円／人を徴収。賄いきれない経費は、朝日地区の5まちづくり協議会からの補助金で対応。（まち協との協働）



社会福祉法人・住民有志による買物支援「買い物に出かけよう」

【実施体制】

使用車両：4台

スタッフ：8名（各車両に運転員1名+添乗員1名の2名体制）

- ✓参加者のとりまとめ・連絡調整／送迎ルートの設定／ボランティアへの確保・連絡等は集落支援員が担当。
- ✓運転ボランティアは事前に安全運転講習を受講。

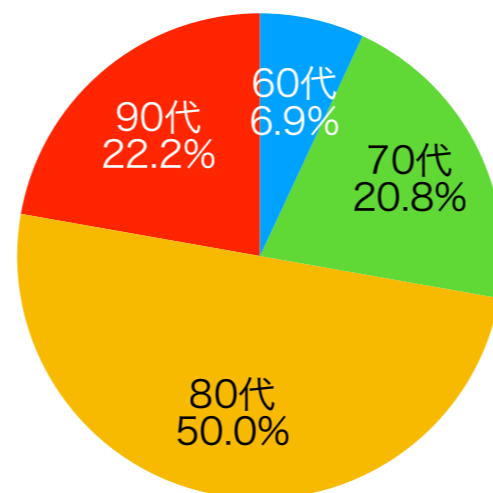
【当日のおおよその流れ】

- 10:00 各福祉施設に集合・送迎車両を借用し出発
- 10:40 商業施設に到着／買物スタート
- 11:50 商業施設を出発／各自宅まで送迎
- 12:30 送迎終了・車両返却

【R5年度の実績】

- 実施回数：6回（2023.6～11）
- 参加人数：のべ72人（平均12人／回）
- 運転ボランティア登録：13名
（平均従事回数：1.8回／人）
- 添乗ボランティア登録：8名
（平均従事回数：2.8回／人）

参加者の年代構成



社会福祉法人・住民有志による買物支援「買い物に出かけよう」

<事業収支>

収入 参加者負担 : 300円×72人=21,600円
まち協補助金※ : 34,342円 **【収入計】 55,942円**
※総支出額に対して、参加者負担で賄いきれない差額を朝日地区5まち協が補助

支出 ガソリン代 : 26,002円 (4台分)
自動車保険 : 22,400円 (4台分)
国内旅行保険 : 7,500円 **【支出計】 55,942円**

【R5年度の総括】

- ✓3カ年の実験による蓄積から、過度な負担なくスムーズに実施できる仕組みが整った。
- ✓参加者からは大変好評。(毎月実施してほしいという声も出ている)
- ✓休憩スペースの有無は非常に重要。セルフレジについては店員・添乗ボラのサポートがあれば問題ない。
- ✓隣接店舗(ドラッグストア/しまむら)に買い物に行く参加者もいる。
- ✓毎回晴天に恵まれて続けており、雨天・荒天時の実施経験が未だに無いことが一抹の不安...
- ✓添乗ボランティアが不足気味であり、1人あたりの従事回数が多くなっている。



集落座談会の開催支援

【目的・概要】

住民同士のささえあいの機運を高め、自発的な取り組みへとつなげていくために、集落単位での対話の場の運営を支援。

【R5年度の実績】

2集落（十川・北大平）で実施

十川集落（1回）：参加者23名

北大平集落（2回）※：参加者のべ30名

※たかねまちづくり協議会が協議会事業として開催を支援。
あさひ互近所ささえ一隊は「協力」という形で参画。

【成果】

北大平集落で3カ年・計6回の座談会を積み重ねた結果、年々参加者が増加していき、**次年度から集落での地域の茶の間が復活**する見通しに！

